

●日本共産党埼玉県委員会は、7月20日告示・8月6日投票の埼玉県知事選挙に柴岡ゆうま氏を決定し、県政政策(第一次)を発表しました。

4 県民一人ひとりに寄り添う あたたかい埼玉県政へ つの提案 日本共産党

子育て
支援など

生きることを励ます県政に

- 学校給食費ゼロ、18歳まで子ども医療費無料化など子育て支援
- 国民健康保険税引き上げは撤回し、国保税は引き下げる
- 「県水道料金」20%料金引き上げは撤回を
- 同性パートナーシップ・ファミリーシップ宣言
- 男女賃金格差解消、県医療的ケア児支援地域センター5年後の市町村移管撤回
- コミュニティバス・デマンド交通への支援

奨学金の
返金支援など

学ぶことをあきらめない県政に

- 全県学力学習状況調査の中止
- 従業員の奨学金返還支援を行う中小企業等をさらに応援
- 県立高校タブレットの計画的全生徒分配備、県立高校統廃合見直し、私学助成の拡充、朝鮮人学校への私学助成復活

豊かな
自然生かし

地産地消で活気ある街に

- 農業資材や燃油、肥料、飼料価格高騰へのさらなる支援
- 地産地消拡大、とくに学校給食への地場産品活用
- 省エネ・再生エネ経済活性化プロジェクト
- 再生可能エネルギー条例…普及のためのルールをつくる
- 農業普及員・試験場職員の増員

自民党政治の
悪政から

県民のくらし守る防波堤に

- マイナンバー保険証一本化STOPといえる県知事に
- 適格請求書保存方式（インボイス制度）中止を求める県知事に
- 岸田大軍拡による県内基地強化にものが言える県知事に



子どもに笑顔!
若者に希望!
高齢者に安心を

柴岡ゆうま氏のプロフィール

- 1984年3月に旧浦和市に生まれる。4歳まで浦和に住み、その後深谷市に転居。深谷市内の小中学校を卒業。高校は県立熊谷農業高校、大学は北海道の帯広畜産大学（農業系の道に進んだのは「北の国から」にあこがれたから）。
- 卒業後の2006年から、日本共産党専従者として北部地区委員会で勤務し、青年学生分野の党づくりに全力あげる。地区委員長などを歴任。
- 2012、2014、2017年の総選挙で埼玉11区小選挙区候補者となる。2018年から党県委員会書記長。
- [家族]妻と1男2女。深谷市在住。

田村智子副委員長を迎えて
日本共産党街頭演説

7月20日(木)午前10時
浦和駅西口

新埼玉

2023年7月号外 発行/日本共産党埼玉県委員会 さいたま市大宮区北袋町1-171-1 ☎048-658-5551